

唐津バルブ工業株式会社

#バルブ #脱炭素 #エネルギー産業

感染症による設備投資案件の減少・脱炭素化の加速化など社会構造の急激な変化に対応するため、最新のフェーシングセンターを導入。バルブメーカーの生き残りをかけ、エネルギー産業等への部品製作への参入を図り、この危機を乗り越えていく。

エネルギー産業分野への挑戦！
バルブメーカーの生き残りをかけた

現状

はん用機械器具製造業（工業用弁・バルブ）

バルブの設計から組立までを行う一貫生産を強みとし、自社の高い製造技術や品質管理能力が評価され、日本各地の発電所を中心としたプラントに製品を納入。一方、化石燃料への依存脱却、再生可能エネルギー需要の増加により、火力発電所をメインターゲットとする自社にとっては脱炭素化の動きが脅威となり得た。そこで、自社の高い加工技術をエネルギー産業部品の加工に応用。時代の潮流に沿った事業再構築を行う。

成長イメージ

はん用機械器具製造業（エネルギー関連機械部品）

社会構造の急激な変化に対応するため、自社の高い技術力を活かし、エネルギー産業機械部品等の加工分野に進出。原子力発電所の弁遠隔操作装置の微細加工や、水素関連設備用機器の迅速かつ低コストでの製作等を手がけ、他社の追随を許さない各種部品製作事業を行う。



会社外観



新規事業で用いるポンプ部品

VOICE

挑戦する市場の動向を把握することが難しく、5年分の事業計画を立てることが大変だった。

POINT

認定支援機関が製造業の事業計画書の作成支援に慣れていたので、スムーズに作成ができた。業種に強い支援機関を選ぶことはポイントだと言える。

会社概要

代表者：小野原 修 / 住所：佐賀県唐津市原1525番地1
資本金：4500万円 / 従業員数：70人 / TEL：095-577-1111
HP：<http://www.karatu-valve.co.jp/>